



—東地中海地域ニュース—

中東和平：ネタニヤフ首相とミッチェル米國中東和平担当特使との会談

(8月26日付ハアレッツ紙)

26日付イスラエル・ハアレッツ紙（電子版）は、ロンドンで開催されたネタニヤフ首相とミッチェル米國中東和平担当特使との会談について報じている。概要は以下のとおりである。

1. 26日午前、ロンドンで行われたネタニヤフ首相とミッチェル米國中東和平担当特使との会談について両者の報道官は共同メッセージを発出し、西岸における入植地問題に関して合意に至らなかったものの、この会談では進展も見られ、ネタニヤフ首相及びミッチェル特使双方は、地域的な和平合意に達するため、イスラエル・パレスチナ間で交渉を開始する必要があることで意見が一致したと述べた。
2. 次回の協議は、来週始めにワシントンで行われる予定であり、イスラエル側より、今回の会談に同席したイツハク・モルホ首相特使及びマイク・ヘルツォーグ国防相首席補佐官の両名が訪米の上、再度米国が要求する入植地の凍結についてミッチェル特使と協議する予定。
3. この会談に先立ち、ネタニヤフ首相は、イスラエル政府がパレスチナ側との対話を再開させるため進展を図り、近いうちに実現できる事を期待すると語った。